

# 令和3年度 資源・ごみ排出実態調査報告書 概要版

## 1 調査概要

### (1) 調査目的

資源・ごみ集積所及びモニター世帯・事業所から回収した資源・ごみについて、資源・ごみの組成、資源の混入率、排出量等を調査・分析し、新宿区内から発生する資源・ごみの排出実態を把握することにより、「一般廃棄物処理基本計画」の改定及び「食品ロス削減推進計画」の策定の基礎資料、排出指導及び普及啓発等に活用することを目的とした。

### (2) 調査内容

#### ① 家庭ごみ組成分析調査

家庭から資源・ごみ集積所（一部「戸別収集」を含む）に排出された資源・ごみを回収し、組成割合や資源の混入率を調査した。

- 調査対象：戸別収集地区、外国人の居住が多い地区、住商混合地区、単身者集合住宅地区、戸建住宅地区、集合住宅地区（管理人排出）（計6地区）から選定した資源・ごみ集積所。
- 調査日程：令和3年9月21日（火）～28日（火）の7日間（日曜日を除く）。

#### ② 家庭ごみ排出原単位調査

区内のモニター世帯から発生する一定期間のすべての資源・ごみを回収・分析し、区民一人1日あたりの資源・ごみの排出量（排出原単位）を算出した。

- 調査対象：戸建住宅地区及び集合住宅地区から選定した119世帯。
- 調査日程：令和3年9月14日（火）～20日（月）の6日間（日曜日を除く）。

#### ③ 事業系ごみ排出原単位調査

区内のモニター事業所から発生する一定期間のすべての資源・ごみを回収・分析し、1事業所1日あたり及び従業員一人1日あたりの資源・ごみの排出量（排出原単位）を算出した。

- 調査対象：地域特性の異なる地区から選定したモニター事業所（事業系有料ごみ処理券を貼付し、資源・ごみを区に排出している事業所）106事業所。
- 調査日程：令和3年9月8日（水）～14日（火）の6日間（日曜日を除く）。

#### ④ 事業所アンケート調査

事業系ごみ排出原単位調査のモニター事業所を対象に、資源・ごみの排出状況及びごみの減量・リサイクルの取組状況等のアンケート調査を行った。

- 調査日程：事業系ごみ排出原単位調査終了後の令和3年9月13日（月）～14日（火）に配布を行い、後日返送する方法で10月1日（金）を返送期限とした。

※ 図表中の合計値は端数処理により一致しない場合がある。

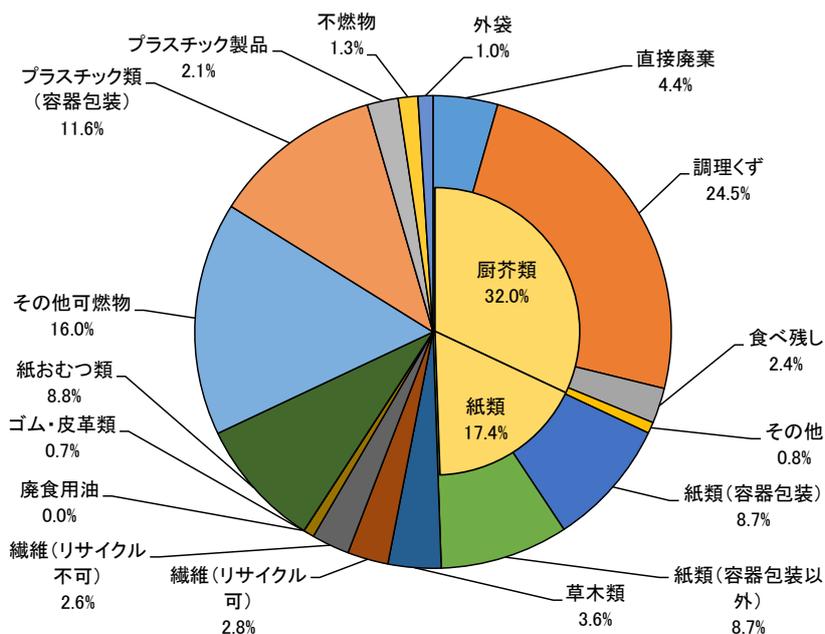
※ 図表中で「0（ゼロ）」と表示されている箇所は、表示されている桁数よりも小さい値がある場合を示す。

## 2 家庭ごみ組成分析調査

### (1) 燃やすごみの組成割合

燃やすごみの組成割合は、「調理くず」が24.5%と最も多く、次いで、「その他可燃物」が16.0%、「プラスチック類（容器包装）」が11.6%となっている。燃やすごみ中の不燃物の割合は1.3%、外袋の割合は1.0%となっている。

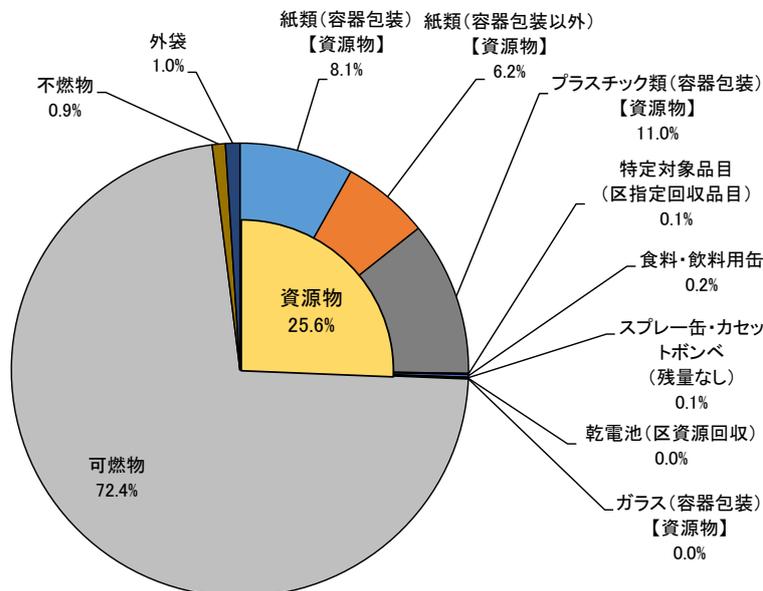
図表1 燃やすごみの組成分析結果（全体）



### (2) 燃やすごみに含まれる資源物等の混入割合

リサイクル可能な資源物の混入割合は25.6%となっており、資源物は、「プラスチック類（容器包装）」が11.0%と最も多く、次いで、「紙類（容器包装）」が8.1%、「紙類（容器包装以外）」が6.2%含まれている。

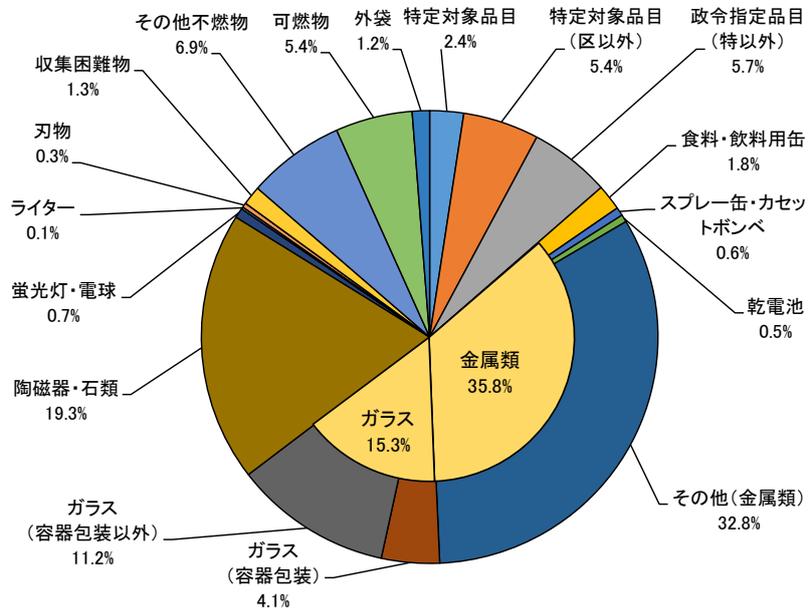
図表2 燃やすごみに含まれる資源物等の混入割合（全体）



### (3) 金属・陶器・ガラスごみの組成割合

金属・陶器・ガラスごみの組成割合は、「その他（金属類）」が32.8%と最も多く、次いで、「陶磁器・石類」が19.3%、「ガラス（容器包装以外）」が11.2%となっている。金属・陶器・ガラスごみ中の可燃物の割合は5.4%、外袋の割合は1.2%となっている。

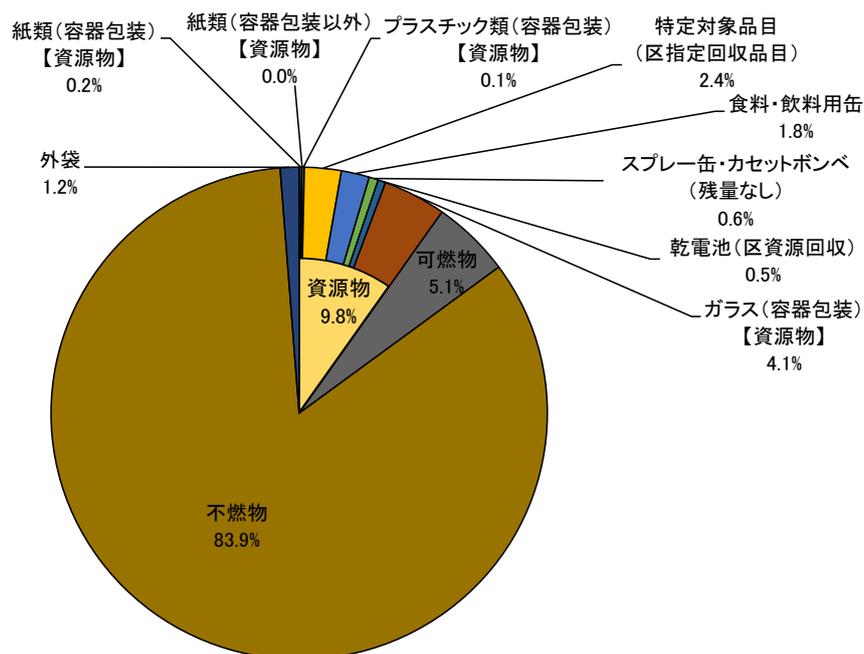
図表3 金属・陶器・ガラスごみの組成分析結果（全体）



### (4) 金属・陶器・ガラスごみに含まれる資源物等の混入割合

リサイクル可能な資源物の混入割合は9.8%となっており、資源物は、「ガラス（容器包装）」が4.1%と最も多く、次いで、「特定対象品目（区指定回収品目）」が2.4%、「食料・飲料用缶」が1.8%含まれている。

図表4 金属・陶器・ガラスごみに含まれる資源物等の混入割合（全体）

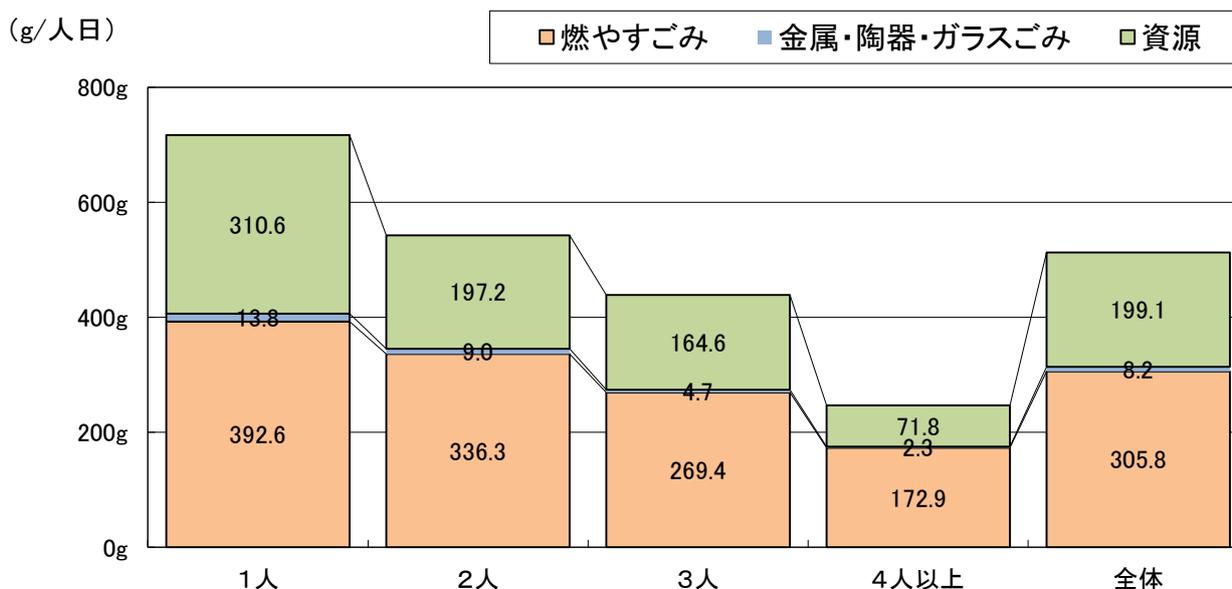


### 3 家庭ごみ排出原単位調査

#### (1) 区民一人1日あたりの資源・ごみの排出量（世帯人数別）

区民一人1日あたりの資源を含むごみの排出量は、全体で513.0g/人日となっている。

図表5 区民一人1日あたりの資源・ごみの排出量（世帯人数別）



#### (2) 平成28年度排出原単位調査との比較

平成28年度調査と比較すると、家庭ごみの排出原単位は、燃やすごみは9.5g/人日増加、金属・陶器・ガラスごみは9.1g/人日減少、資源は17.0g/人日減少となっている。

図表6 平成28年度排出原単位調査との比較

	単位:g/人日		
	平成28年度	令和3年度	増減
燃やすごみ(a)	296.3	305.8	9.5
金属・陶器・ガラスごみ(b)	17.3	8.2	-9.1
資源(c)	216.1	199.1	-17.0
資源を含むごみ(a+c+c)	529.7	513.0	-16.7
資源を除くごみ(a+b)	313.6	313.9	0.3

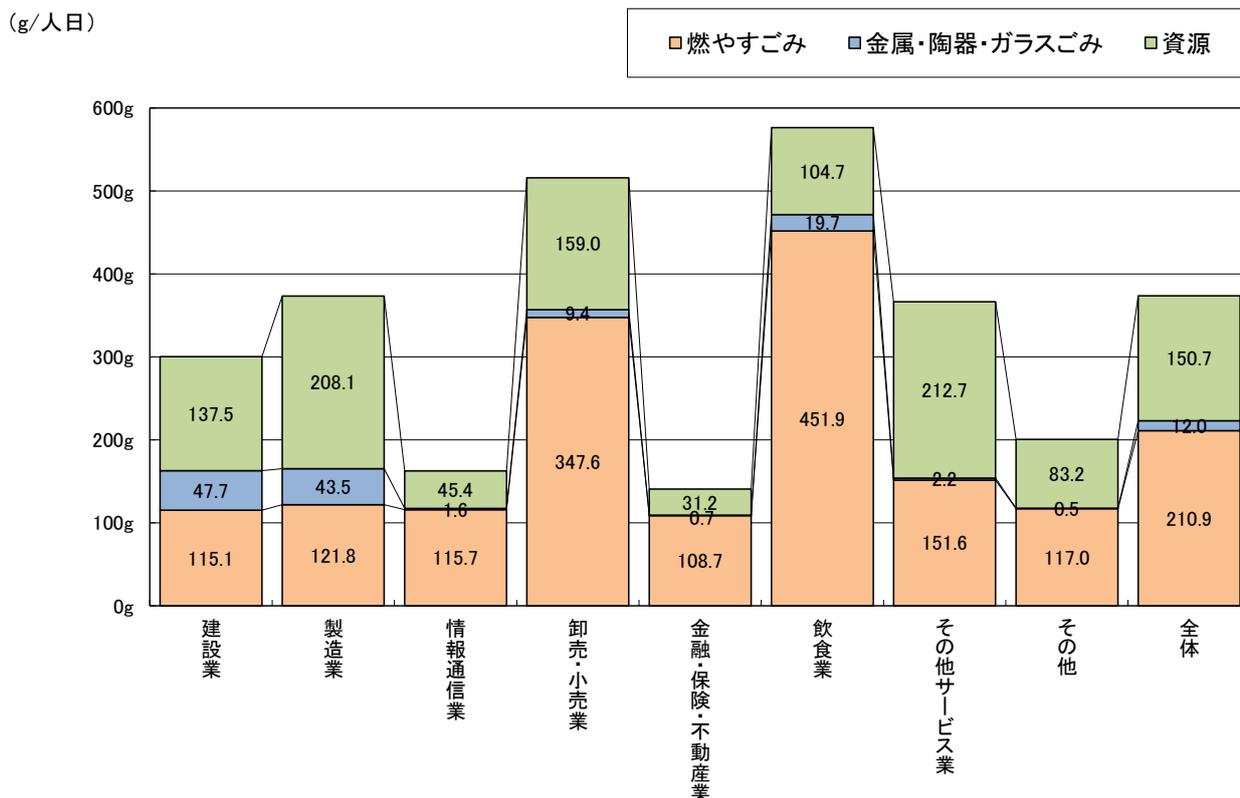
※平成28年度の資源量は「びん・缶類等」、「古紙・容器包装プラスチック」、「拠点回収に排出している資源」の合計

## 4 事業系ごみ排出原単位調査

### (1) 従業員一人1日あたりの資源・ごみの排出量（業種別）

燃やすごみは「飲食業」が最も多く 451.9 g/人日、金属・陶器・ガラスごみは「建設業」が最も多く 47.7 g/人日、資源は「その他サービス業」が最も多く 212.7 g/人日となっている。「飲食業」の燃やすごみの内、71.9%は厨芥類である。また、資源の排出が最も少なかったのは「金融・保険・不動産業」の 31.2g/人日であった。

図表7 従業員一人1日あたりの資源・ごみの排出量（業種別）



### (2) 平成28年度排出原単位調査との比較

平成28年度調査と比較すると、従業員一人1日あたりの排出原単位は、燃やすごみは 95.0 g/人日減少、金属・陶器・ガラスごみは 5.6 g/人日減少、資源は 62.5 g/人日増加となっている。

図表8 平成28年度排出原単位調査との比較

単位:g/人日

	平成28年度	令和3年度	増減
燃やすごみ(a)	305.9	210.9	-95.0
金属・陶器・ガラスごみ(b)	17.6	12.0	-5.6
資源(c)	88.2	150.7	62.5
資源を含むごみ(a+c)	411.7	373.5	-38.2
資源を除くごみ(a+b)	323.5	222.9	-100.6

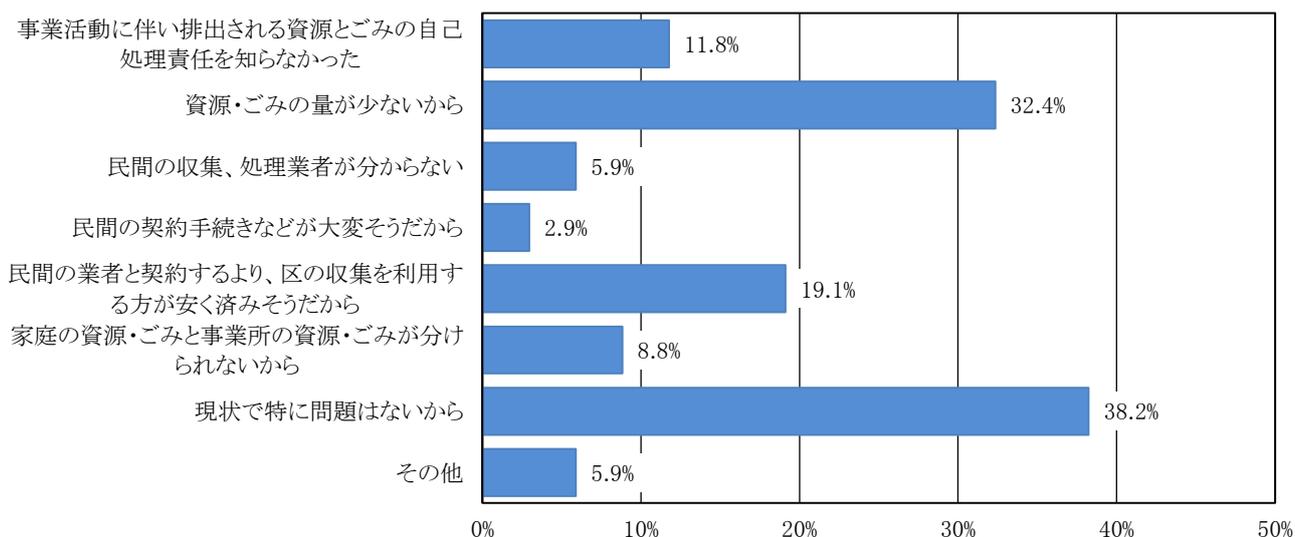
※平成28年度の資源は「びん・缶類等」、「古紙・容器包装プラスチック」の合計

## 5 事業所アンケート調査

### (1) 区の収集に出している理由

「現状で特に問題はないから」が38.2%で最も多いが、「事業活動に伴い排出される資源とごみの自己処理責任を知らなかった」が11.8%、「民間の収集、処理業者が分からない」が5.9%であり、区の啓発や情報提供の余地があると思われる。

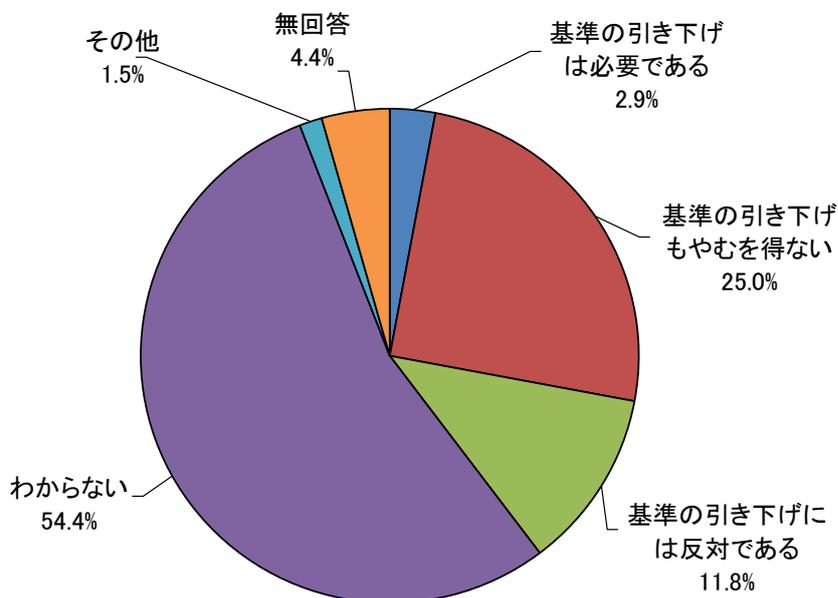
図表9 区の収集に出している理由



### (2) 「日量50kg未満」の基準の引き下げ

「わからない」が54.4%で最も多く、次いで「基準の引き下げもやむを得ない」25.0%、「基準の引き下げには反対である」11.8%となっているが、「基準の引き下げは必要である」と「基準の引き下げもやむを得ない」を合計した肯定的な回答が27.9%となっている。

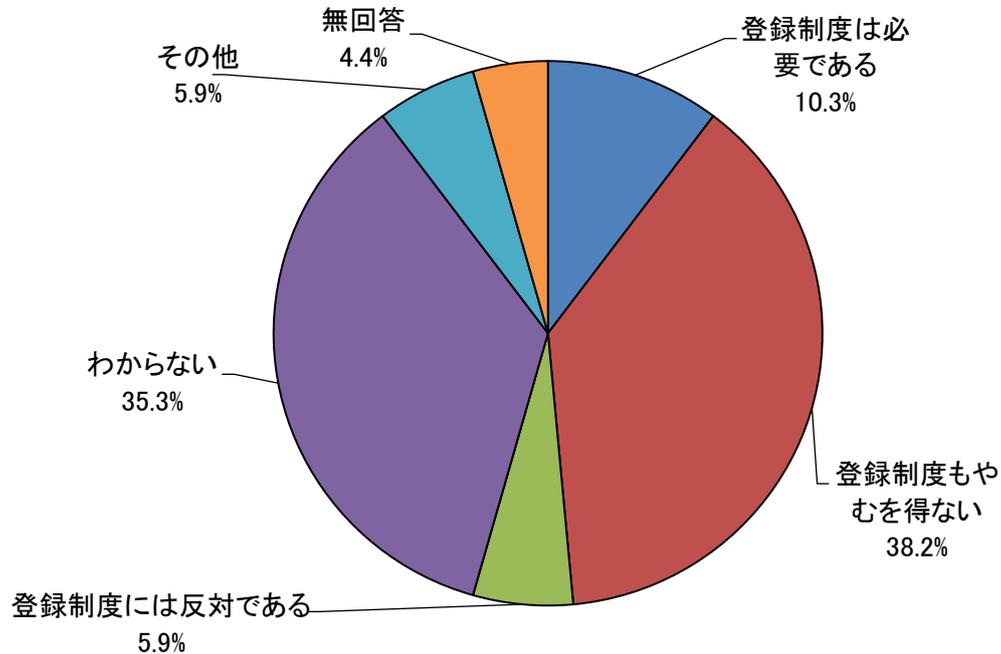
図表10 「日量50kg未満」の基準の引き下げ



### (3) 排出事業者の登録制度の導入

「登録制度もやむを得ない」が38.2%で最も多く、次いで「わからない」35.3%、「登録制度は必要である」10.3%となっているが、「登録制度は必要である」と「登録制度もやむを得ない」を合計した肯定的な回答が48.5%となっている。

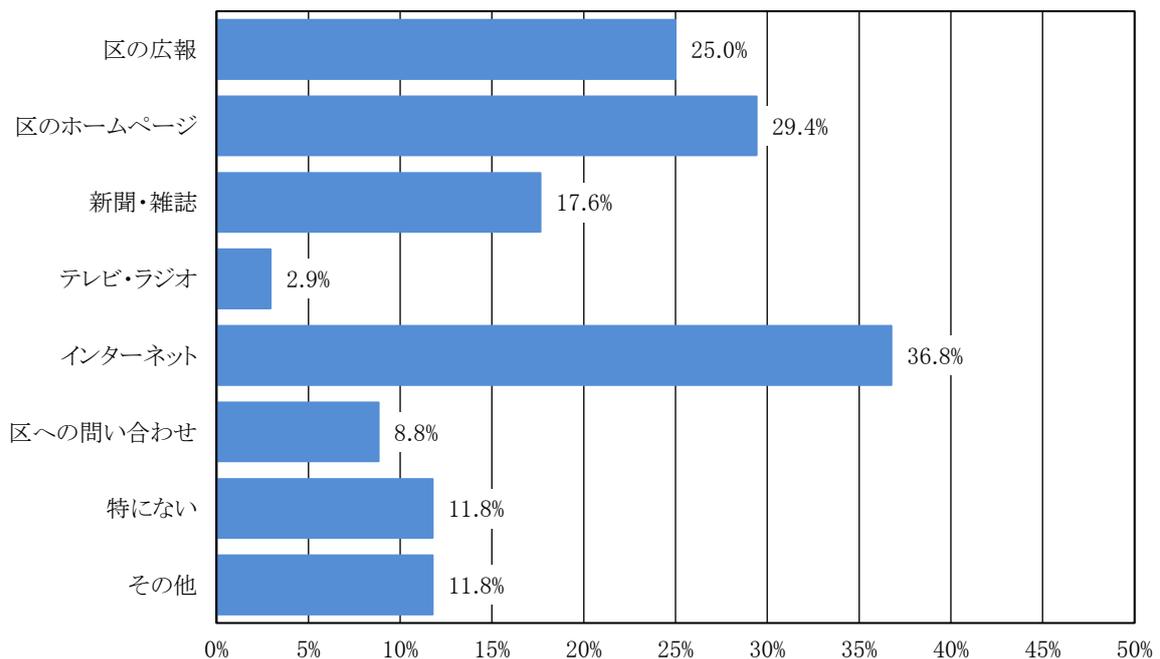
図表 11 排出事業者の登録制度の導入



### (4) ごみの減量やリサイクルに関する情報の入手方法

「インターネット」が36.8%で最も多いが、「区のホームページ」29.4%、「区の広報」25.0%、「区への問い合わせ」8.8%となっており、区の情報提供が必要なことが分かる。

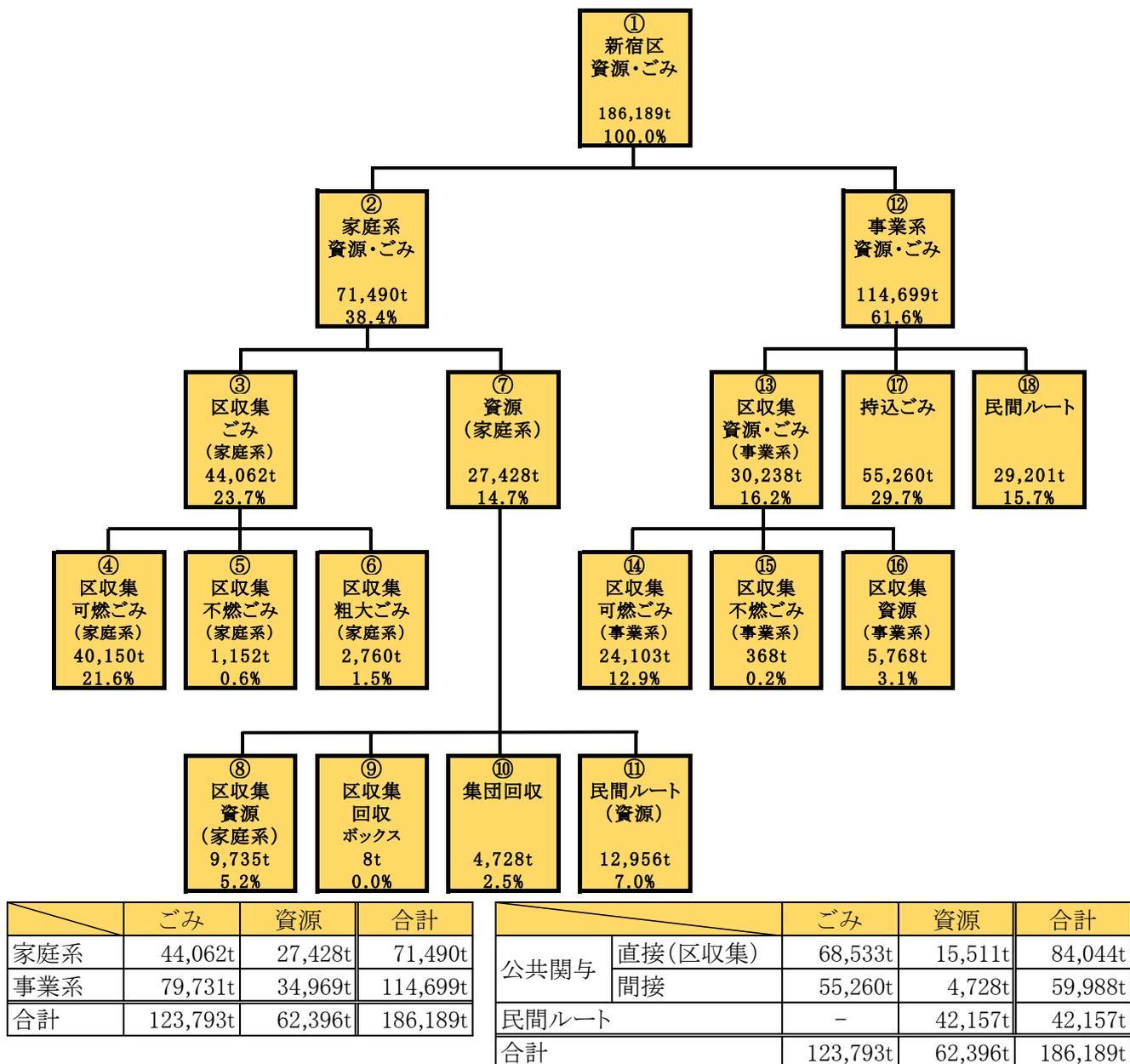
図表 12 ごみの減量やリサイクルに関する情報の入手方法



## 6 新宿区のごみの発生量の推計

新宿区から発生する令和3年度の資源・ごみ量は、全体で約186,189tと推計する。内訳は、家庭系が約71,490tで38.4%、事業系が約114,699tで61.1%となっている。

図表13 新宿区における令和3年度の資源・ごみの発生・処理フロー



### 資源・ごみ排出実態調査報告書 概要版 (令和3年度)

発行年月 : 令和4年1月 発行

編集・発行 : 新宿区環境清掃部ごみ減量リサイクル課  
東京都新宿区歌舞伎町 1-4-1  
電話 : 03-5273-3318

調査機関 : 有限会社 循環資源・環境ビジョン研究所  
東京都千代田区九段南 2-5-6  
電話 : 03-3262-8608

印刷物作成番号  
2021-9-3915

本書は再生紙を使用しています。